

2023(令和5)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ  
〈語学・大学留学コース〉4月レポート  
“みちしるべ”

2023(令和5)年度奨学生 河原塚 咲

みなさま、こんにちは。

フィンドレー大学のキャンパス内には花々が次々に咲き始め、目にも楽しい季節になってきました。学生たちは芝生に寝転んだりハンモックを持ち出したりして、気持ちよさそうに日光浴を楽しんでいます。タンクトップから出た肩や首元が真っ赤になっても、気にすることなく涼しい顔をしている彼らに驚く毎日です。今回のレポートでは、The Cherry Blossom Festival(お花見)、2つの表敬訪問と皆既日食の様子をお伝えします。

#### CONTENTS

1. The Cherry Blossom Festival(お花見)について
2. デトロイト総領事館・フィンドレー市長へ表敬訪問
3. Total Solar Eclipse 2024!

### 1. The Cherry Blossom Festival(お花見)について

フィンドレー大学にほど近い Bowling Green State University(通称:BGSU)にて、お花見イベントが行われたため参加してきました。先月に行われた International Night でも披露したヲタ芸、そして Genki Kids に参加する子どもたちと日本の歌を歌いました。Genki Kids とは、大学内で近所の子どもたち(主に小学生)と一緒に日本語を学び、親んでもらおうという授業です。毎週の授業の最初に、Tulips と幸せなら手を叩こう(If You're Happy and You Know It)を練習し、お花見ではこの2曲を披露しました。練習序盤は難しさを感じていたように見えたのですが、本番では多くの観客の前で堂々と歌う子どもたちの様子が印象的でした。



振舞われた海苔巻き、いなりずしと煎餅です！

お花見では海苔巻きやいなりずし、煎餅も食べることができ、本当に日本に帰ってきたような気分になりました。

## 2. デトロイト総領事館・フィンドレー市長へ表敬訪問

川村先生のご尽力で、福井県奨学生の永井さんと共にデトロイトにある日本総領事館へ表敬訪問を行い、留学の成果を発表する機会をいただきました。私は、留学中の子どもたちとのかかわりを中心にお話をさせていただきました。これまでのレポートをご覧になった方はお気づきかもしれませんが、留学中には小学生から高校生まで、多くの出会いがありました。母親が教育に関する職業に就いており、幼少期から教育現場が身近であり関心を持つ私にとって、アメリカでの活動はどれも今まで受けてきた教育を追体験するものであり、今後のキャリアを考えるための重要な材料になりました。

そして、デトロイトからトルネード警報が発令される大雨のなかフィンドレーへ戻り、フィンドレーの市長への表敬訪問も行いました。市長は警報が発令された際、どんな事態にも対応できる準備をしておかなければなりません。一時は表敬が取りやめになるかと思われましたが、忙しい間をぬって気さくに迎えてくださった彼女にはとても感謝しています。



左から川村先生、進藤総領事、  
福井県奨学生の永井さん、そして私です



こちらはフィンドレー市長へ表敬訪問した際の  
1枚です

## 3. Total Solar Eclipse 2024!

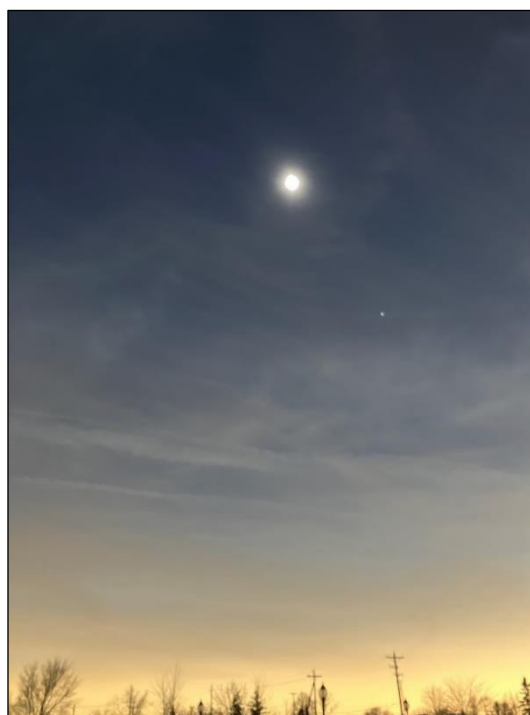
タイトルは皆既日食の意味です。この日は朝から快晴で、絶好の観測日和でした。驚くべきことに、この日は多くの授業が休講となっていました。午後3時ごろに完全に太陽が月の陰に隠れるということで、食堂でお昼ご飯を食べた後に芝生のある広場へ向かったのですが、既に多くの人たちが専用のサングラスを片手に空を見上げていたのには驚きました。太陽を見るための専用のサングラスは、どういうわけかキャンパス内、クラス内で配られ、多くの人が楽しみにしているようでした。

さて、太陽が隠されるということで時間が経つにつれてだんだんと暗くなっていき、それに伴って空気も心なしか冷たくなってきました。そしていざ皆既日食というタイミングになると、あちこちから“Crazy”や“Insane”という歓声が聞こえ、肉眼でも目を傷めることなく太陽を見上げることができました。それは、今まで見た皆既日食のなかでも1番美しく、同時に不思議な光景でした。ほんの数分の天体ショーをみるために、

アメリカの他の地域や別の国からやってくる人もいたそうで、私たちにとっても貴重な体験になりました。



学生だけでなく近隣に住む方々も集まり  
とても賑やかでした



午後 3 時だというのに  
夜のように暗くなったことには驚きました！

最後までご覧いただきありがとうございました。

今月のタイトルは、「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」という日本のアニメーションで使われた「みちるべ」とう楽曲からとりました。来月に帰国する日本からの留学生のお別れパーティーの際に、日本語専攻の友人が私たちのために歌ってくれ、私もギターの演奏で参加しました。フィンドレーでの様々な経験が、私たちのこれからの「みちるべ」となってくれるといいなと思っています。

\*本プログラムや生活について、聞いてみたいことがありましたら

[kawaharazukas@findlay.edu](mailto:kawaharazukas@findlay.edu) にお気軽にご連絡ください。私の経験が、みなさまの一助になればと思います。報告書の感想もお待ちしています！